

Ⅲ 墓地実態調査結果

(豊見城市墓地実態調査 調査報告書 平成 24 年 3 月 抜粋)

1. 墓地実態調査

(1) 調査方法

墓地実態調査は、地形図や住宅地図などの既存資料を参考におおまかな墓地の位置を確認し、調査員が現地にて、「墳墓の形態(デザイン)」、「素材」、「面積」などを調査しています。

(2) 調査結果

① 墳墓数・墓地面積

豊見城市内にある墳墓の数は、1,121 基^{*}となっています。

平成9年に沖縄県(沖縄県墓地現況・需要調査報告書 平成11年7月 沖縄県福祉保健部薬務衛生課)が調査した豊見城村の墳墓数は1,119 基となっており、平成9年より、墳墓数には変化が見られません。

表 3-1 墳墓数・墓地面積

調査年度	墳墓数	平均墓地面積	備考
平成9年度	1,119 基	42m ²	沖縄県による調査
平成23年度	1,121 基 [*]	51m ²	豊見城市による調査

※小墳墓も含んでいるため墓地台帳の数と合わない。

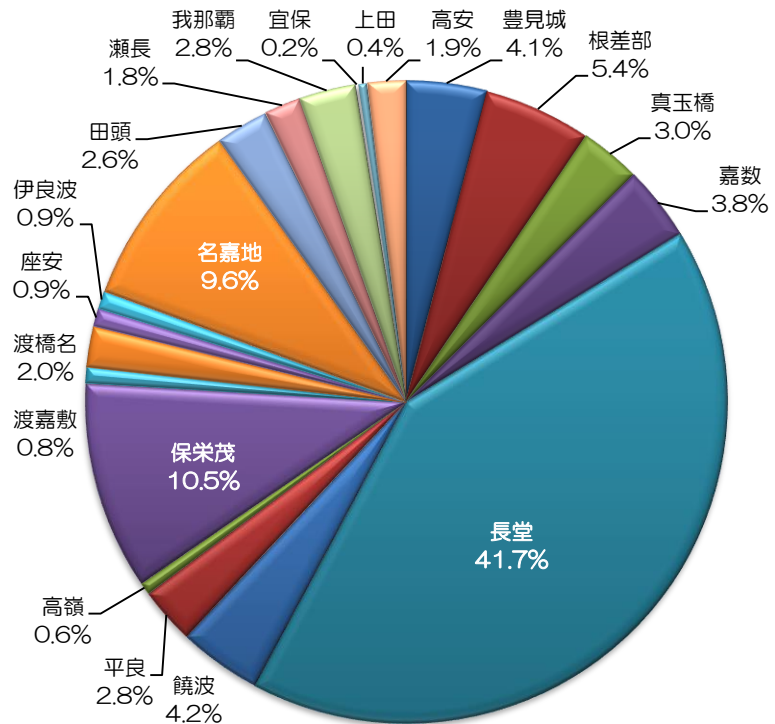
②字別墳墓数

最も墳墓数が多かったのは、長堂の 409 基(41.7%)、次いで保栄茂の 103 基(10.5%)、名嘉地の 94 基(9.6%)となっています。

表 3-2 字別の墳墓数

字	墳墓数 (基)	構成比 (%)
豊見城	40	4.1
根差部	53	5.4
真玉橋	30	3.0
嘉 数	37	3.8
長 堂	409	41.7
金 良	0	0.0
饒 波	41	4.2
平 良	28	2.8
高 嶺	6	0.6
保栄茂	103	10.5
渡嘉敷	8	0.8
渡橋名	20	2.0
翁 長	0	0.0
豊 崎	0	0.0
与 根	0	0.0
座 安	9	0.9
伊良波	9	0.9
名嘉地	94	9.6
田 頭	26	2.6
瀬 長	18	1.8
我那覇	28	2.8
宜 保	2	0.2
上 田	4	0.4
高 安	19	1.9
合 計	984	100

図 3-1 字別の墳墓数



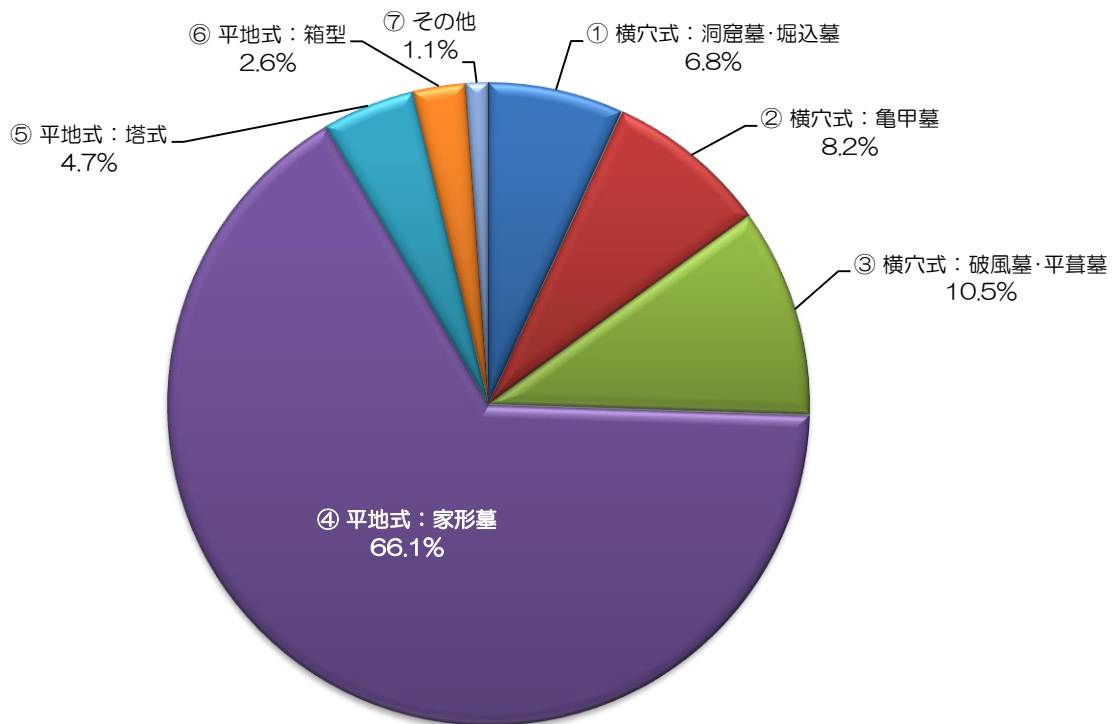
③デザイン(墳墓の形態)

最も多いデザイン(墳墓の形態)は、「平地式：家形墓」の650基(66.1%)でした。

表 3-3 デザイン別の墳墓数

項目	墳墓数	構成比
① 横穴式：洞窟墓・堀込墓	67 基	6.8 %
② 横穴式：亀甲墓	81 基	8.2 %
③ 横穴式：破風墓・平萱墓	103 基	10.5 %
④ 平地式：家形墓	650 基	66.1 %
⑤ 平地式：塔式	46 基	4.7 %
⑥ 平地式：箱型	26 基	2.6 %
⑦ その他	11 基	1.1 %
合計	984 基	100.0 %

図 3-2 デザイン別の墳墓数



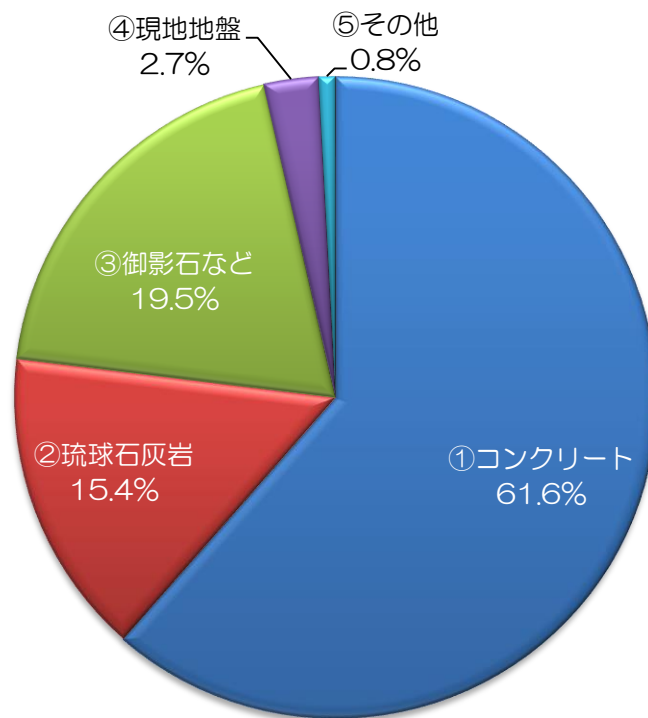
④墳墓の素材

最も多い墳墓の素材は、「コンクリート」の605基(61.6%)でした。

表 3-4 素材別の墳墓数

項目	墳墓数	構成比
① コンクリート	605 基	61.6 %
② 琉球石灰岩	152 基	15.4 %
③ 御影石など	192 基	19.5 %
④ 現地地盤	27 基	2.7 %
⑤ その他	8 基	0.8 %
合計	984 基	100.0 %

図 3-3 素材別の墳墓数



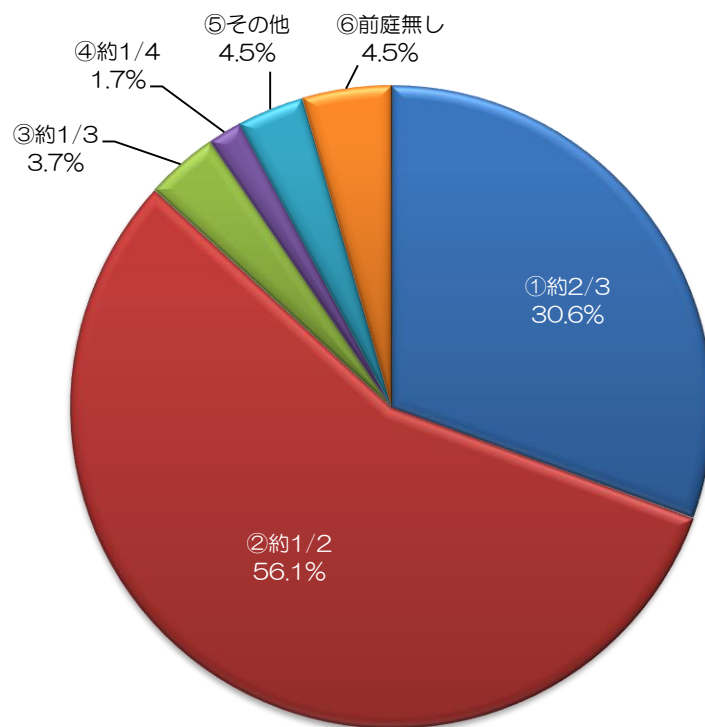
⑤前庭の広さ

前庭の広さでは、墓地面積の約 1/2 の広さの前庭が 553 基と最も多く、次いで約 2/3 が 301 基(30.6%)でした。

表 3-5 前庭の広さ別の墳墓数

項目	墳墓数	構成比
① 約 2/3	301 基	30.6 %
② 約 1/2	553 基	56.1 %
③ 約 1/3	36 基	3.7 %
④ 約 1/4	17 基	1.7 %
⑤ その他	33 基	3.4 %
⑥ 前庭無し	44 基	4.5 %
合計	984 基	100.0 %

図 3-4 前庭の広さ別の墳墓数割合



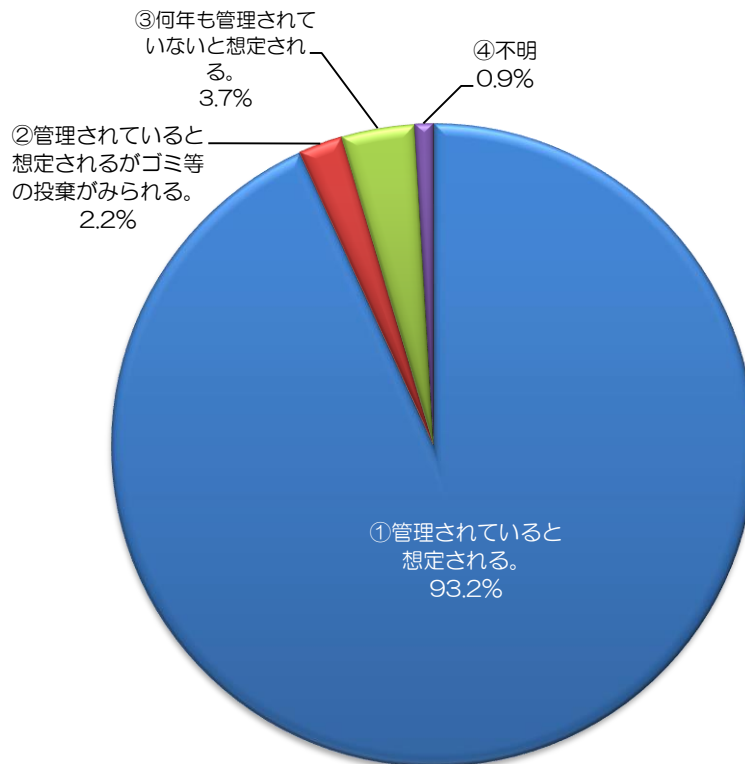
⑥管理状況

管理状況については、「管理されていると想定される」が917基(93.2%)と最も多く、豊見城市内の多くの墓地が管理されている状況(無縁墓ではない)であることがわかりました。

表 3-6 管理状況別の墳墓数

項目	墳墓数	構成比
① 管理されていると想定される。	917 基	93.2 %
② 管理されていると想定されるがゴミ等の投棄がみられる。	22 基	2.2 %
③ 何年も管理されていないと想定される。	36 基	3.7 %
④ 不明	9 基	0.9 %
合計	984 基	100.0 %

図 3-5 管理状況別の墳墓数割合



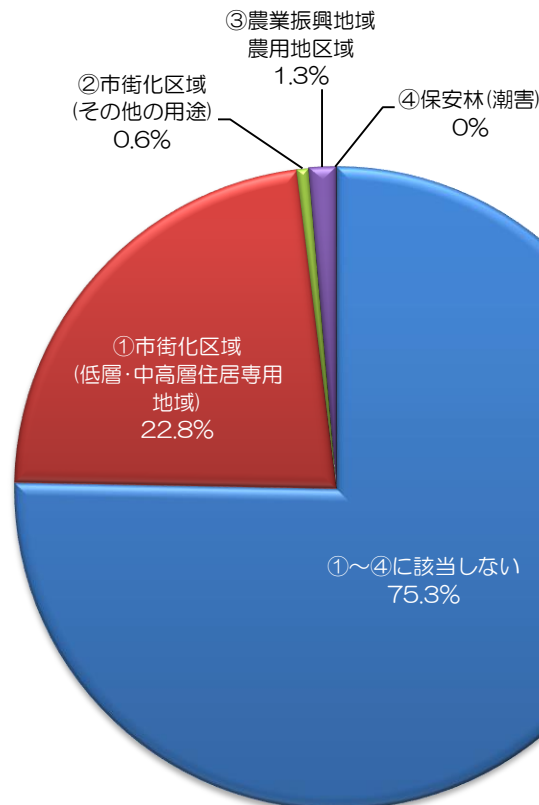
⑦立地状況

立地状況については、「①～④に該当しない」が741基(75.3%)と最も多く、次いで「市街化区域(低層・中高層住居専用地域)」が224基(22.8%)でした。

表 3-7 立地状況別の墳墓数

項目	墳墓数	構成比
①～④に該当しない	741 基	75.3 %
① 市街化区域(低層・中高層住居専用地域)	224 基	22.8 %
② 市街化区域(その他の用途)	6 基	0.6 %
③ 農業振興地域 農用地区域	13 基	1.3 %
④ 保安林(潮害)	0 基	0.0 %
合 計	984 基	100.0 %

図 3-6 立地状況別の墳墓数割合



⑧墓地の設置場所の基準に対する適応状況

墓地の設置場所の基準では、①～⑤に該当しないこととなっています。しかし、個人墓地については①～③の距離規定については適用されません。

墓地の設置場所の基準に対する適応状況については、「①～⑤に該当しない」が 916 基(93.1%)と最も多く、次いで「公園、学校、病院、その他の公共施設及び人家から 100m以内にある」が 40 基(4.1%)でした。

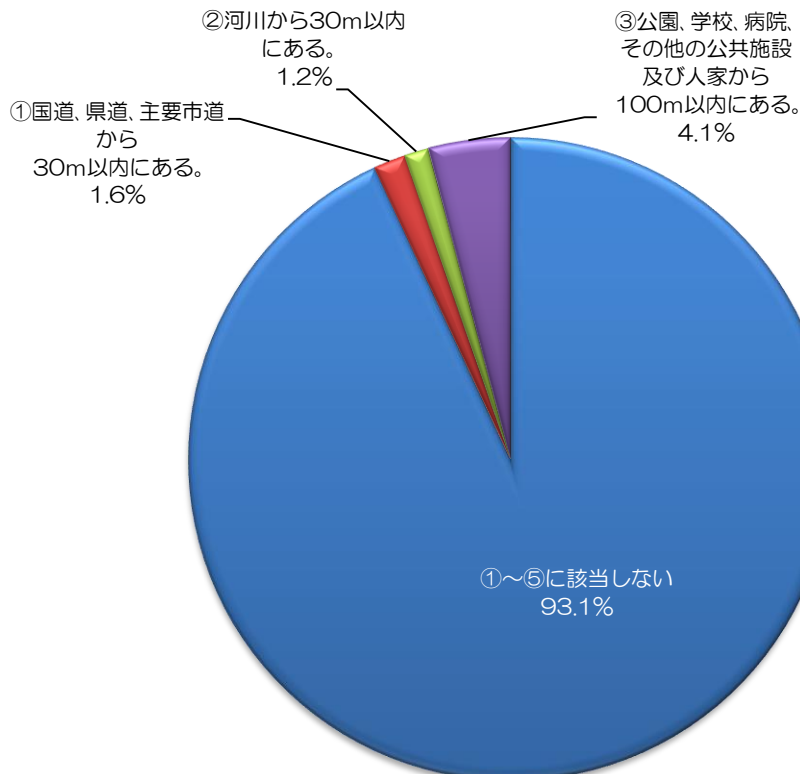
表 3-8 墓地の設置場所の基準に対する適応状況別の墳墓数

項目	墳墓数	構成比
①～⑤に該当しない	916 基	93.1 %
① 国道、県道、主要市道から 30m以内にある。	16 基	1.6 %
② 河川から 30m以内にある。	12 基	1.2 %
③ 公園、学校、病院、その他の公共施設及び人家から 100m以内にある。	40 基	4.1 %
④ 地すべり防止区域又は急傾斜地崩壊危険区域の中にある。	0 基	0.0 %
⑤ 水源地付近にある。(水源を汚染する可能性がある。)	0 基	0.0 %
合計	984 基	100.0 %

※①については、国道及び県道から 30m以内にある墓地を調査した。

※③については、公園及び学校から 100m以内にある墓地を調査した。

図 3-7 墓地の設置場所の基準に対する適応状況別の墳墓数割合



⑨墓地の構造基準に対する適応状況

墓地の構造基準に対する適応状況については、墓地によっては複数の項目に該当する場合があります。

墓地の構造基準では、①～⑤に該当することとなっています。しかし、個人墓地については④および⑤については適用されません。

墓地の構造基準に対する適応状況については、「障壁又は生け垣等で境界が設けられている」が889基(90.3%)と最も多く、次いで「雨水等の滞留を防止する構造となっている」が845基(85.9%)でした。

表 3-9 墓地の構造基準に対する適応状況別の墳墓数

項目	墳墓数※	構成比※
① 障壁又は生け垣等で境界が設けられている。	889 基	90.3 %
② 雨水等の滞留を防止する構造となっている。	845 基	85.9 %
③ 墓石の高さ以上の樹木で植栽帯が施されている。	177 基	18.0 %
④ 緑地がある。	243 基	24.7 %
⑤ 専用駐車場がある。	517 基	52.5 %

※墳墓数については、984基のうち該当する墳墓数を記載しています。

※構成比については、984基を100%とし、該当する墳墓数の構成比を表しています。

図 3-8 墓地の構造基準に対する適応状況別の墳墓数割合

